

## 土石流により愚陀仏庵が崩壊しました

7月12日午前7時半頃、愚陀仏庵（木造2階建て）が土石流により全壊しているのが確認されました。愚陀仏庵は夏目漱石が下宿した萩野家の離れを復元したものです。正岡子規も52日間に渡って漱石と一緒に生活しています。午前6時からの1時間雨量が46.5mmを記録しました。この時間雨量は7月では過去最大です。

崩壊地は松山城が建っている城山の中腹から発生し、100m 足らず流れ下っています。崩壊源は登山道脇の斜面で、崩壊幅が最大で15m、深さは最深部で3m程度です。地質は和泉層群で、風化土層と比較的新鮮な砂岩層の境界部がすべり面になっています。

城山は領家花崗岩と和泉層群の境界部に位置しています。松山城が建っている山頂の平坦部は花崗岩からなる山と和泉層群からなる山の谷部を盛土して造成されています。

城山を歩いてみると所々に崩壊地形が見られます。城山の大半が史跡ですから立派な雑木林が広がっています。そのため、表層土は根茎によりしっかりと保護されています。しかし、近年の異常豪雨が崩壊を引き起こしているようです。



源頭部のすべり面には砂岩が見られる



樹木をなぎ倒し100m 近く流れ下っている